

問

るり溪には約70年経過している砂防ダムがある。このダムが決壊すればどうなるのかという心配をしている。このダムの設計強度や耐震強度、決壊した場合のように事実を把握し、避難指示を出すのか。

〔園部公民館〕

答

京都府から、この砂防ダムについては検査をし、欠損などもなく、安全性を確認しているとの報告を受けています。

避難指示については、区長さんを通じて電話連絡やCATVでの連絡、消防団を通じての連絡という体制を想定しています。防災無線による連絡体制も必要であると考え、未整備区域となっている園部地域の整備に向けて進めている状況で、来年度、何とか設置に向けて予算化



▲経年変化が心配される砂防ダム

していきたくと思っています。

【部長】砂防ダムは京都府の管理施設です。ダム本体は、岩盤にしっかりとへばりついた形で作られています。70年余りを経過し、京都府も経年変化に伴い、一度しっかりとした調査をしようという話をしている状況です。ただし、いつ調査を行うのかなどについては確認できていませんので、確認でき次第、何らかの形でお知らせしたいと思っています。

問

人の命はそれぞれ個人で守るしかない。そして、隣近所が助け合うことが重要である。そのような訓練が必要だと思う。

〔氷室の郷〕

答

まず、自らが自らの命を守っていたら「自助」が基本だと思っています。その上で、行政がやらなければならぬ「公助」、地域社会が共に手を取り合って取り組んでいただく「共助」、この3つが組み合わさってこそ、防災上の安全性が高まってくると思っています。そのような取り組みを進めていきたいと思っています。



▲総合防災訓練で実施された水防訓練

問

地域の要である消防団員が不足しており、充足が困難な状況である。市としてどのように考えているのか。

〔興風交流センター〕

答

広域で山もあり、常備消防の中で、地域のことをよく知っている。入団いただいた方には、勤務先へ協力の手紙を送付するなどの対応をしています。依然厳しい状況です。現在、今後の活動方法や運営について、消防団員の皆さんから意見を出していただいております。先進事例も参考にしながら検討を進めたいと考えています。

豊かな育ち・確かな学び

問

小学校については、ある程度の人数を確保して教育した方が良いと思う。難しい問題だと思うが、子どもたちのこと、学力のことを優先的に考えて対応してほしい。

〔八木公民館〕

答

【教育長】教育委員会としては、あくまでも子どもの豊かな育ちを目指して取り組みを進めています。ご意見のとおり、子どもを中心に考え、将来を支えてくれる子どもの育ちを豊かにするための検討をしっかりと進めていきたいと考えています。

問

子どもの人数が少なくなっている。小規模校から中学校へ進学したとき、自己主張ができ、のびのびと中学校生活を送れるような環境を整備してほしい。

〔摩気小学校〕

答

【教育長】小規模校の子どもたちが中学校へ入学した時